FUJIFILM

BL01051-100 JA

DIGITAL CAMERA

FINEPIX Z800EXR

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックス Z800EXR、および付属の
ソフトウェアの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（→ 111 ページ）をお読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

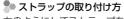
■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー
  NP-45A（1 個）

- バッテリーチャージャー
  BC-45W（1 式）

- 専用 USB ケーブル（1 本）

- CD-ROM（1 枚）

- ストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

ストラップの取り付け方
右のようにしてストラップを取り付けてください。

❶

❷

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

こんな時に使いたい機能一覧
➡ P.4

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときに参照してください。

目次 ➡ P.7

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

トラブルシューティング /FAQ ➡ P.116

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

警告表示 ➡ P.124

液晶モニターに表示される警告の意味と原因を紹介しています。

用語の解説 ➡ P.128

カメラに関する専門用語を解説しています。

索引 ➡ P.137

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

注意：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶モニターのイラストについて

本書では、液晶モニターの表示を簡略化して記載しています。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■ カメラの設定、操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
カメラの時計を合わせたい。	日時設定	P.23
カメラの時計を旅行先の現地時間に合わせたい。	世界時計	P.107
タッチパネルの使い方が知りたい。	タッチパネル	P.12
液晶モニターが自動的に消えないようにしたい。	自動電源 OFF	P.106
液晶モニターの明るさを変えたい。	モニター明るさ	P.105
シャッター音や操作音が鳴らないようにしたい。	音量	P.105
	マナーモード	P.30
シャッターの音色を変更したい。	音色	P.105
液晶モニターに表示されるアイコンの名前を知りたい。	液晶モニターの表示	P.11
バッテリーの残量がどれくらいか知りたい。	バッテリー残量について	P.26
撮影した画像を自宅のプリンターでプリントしたい。	プリンターにカメラを直接つないでプリントする	P.81
タッチパネルの位置を調節したい。	キャリブレーション	P.108
赤外線通信で他のカメラや携帯電話に画像をコピーしたい。	赤外線通信	P.83
特定の人物の顔にピントを優先して合わせて撮影したい。	個人認識	P.50

■ 撮影について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
撮影シーンの認識から設定までカメラに任せて撮影したい。	EXR AUTO（EXR オート）で撮影する	P.25
優先する画質の指標を選んで撮影したい。	HR、SN、DR（EXR 優先モード）	P.33
画面をタッチした場所にピントを合わせて撮影したい。	タッチショット	P.34
パノラマ写真を撮影したい。	ぐるっとパノラマ 360	P.38
手ブレの少ない写真を撮りたい。	ブレ防止	P.28
人物の顔をきれいに撮りたい。	顔キレイナビで撮影する	P.40
個人認識用の情報を撮影時に自動的に登録したい。	個人認識	P.50
状況に合ったモードを選んで撮影したい。	SP シーンポジション	P.35
犬を撮影したい。	ペット検出（いぬ）	P.35
猫を撮影したい。	ペット検出（ねこ）	P.35
被写体に近づいて撮影（近距離撮影）したい。	近距離撮影する	P.47
暗い場所でもフラッシュを使わずに撮影したい。	フラッシュ撮影する	P.42
人物の赤目現象が起きないように撮影したい。		
明るい場所でも、フラッシュを必ず光らせたい。		
連続撮影したい。	連写	P.92
集合写真に自分も写りたい。	セルフタイマーを使って撮影する	P.44
画像の明るさを変えたい。	露出補正	P.88
写真の色味を変えて撮影したい。	フィルムシミュレーション	P.91
動画を撮影したい。	動画を撮影する	P.71

■ 再生について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
フォルダをパスワードで管理したい。	パスワード	P.95
撮影した画像をすぐ確認したい。	１コマ再生する	P.54
個人認識用のデータを表示したい。	個人認識	P.50
2 枚の画像を並べて比較したい。	2 画面比較	P.94
簡単操作で画像を 1 コマ消去したい。	🗑 をタッチして画像を消去する	P.31
画像を 1 コマまたはすべて消去したい。	画像を消去する	P.57
画像に ★ の数でお気に入りのランクを設定したい。	★ お気に入り設定	P.54
画像を拡大して見たい。	再生ズーム	P.55
複数の画像を一度に見たい。	マルチ再生する	P.56
縦向きで写真を表示したい。	縦表示	P.13
大事な画像を間違えて消去しないように保護したい。	プロテクト	P.98
複数の画像を組み合わせて合成したい。	レイアウトフォト	P.59
画像をフォルダ別に整理したい。	フォルダ管理	P.95
画像を検索したい。	ピクチャーサーチ	P.65
お気に入りの画像を集めてフォトブックを作りたい。	フォトブックアシスト	P.68
撮影した動画を YouTube ™ にアップロード予約したい。	アップロード先設定	P.99
撮影した写真を FACEBOOK にアップロード予約したい。		

目次

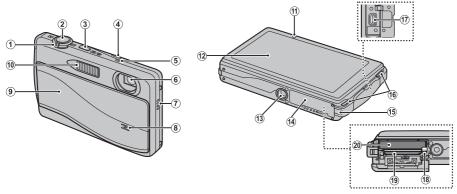
カメラで使えるアクセサリー 109

お取り扱いにご注意ください 111

困ったときは 116

資料 128

各部の名称

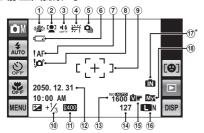
使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

1 ズームレバー ....P.27、55
2 シャッターボタン......................P.29
3 📷/▶ ボタン............................P.22
4 赤外線通信ポート.......................P.83
5 マイク..P.72
6 レンズ.....................................P.134
7 スピーカー P.73
8 イルミネーション....................P.102
セルフタイマーランプ...............P.46

9 電源スイッチ / レンズカバー P.22
10 フラッシュ P.42
11 インジケーターランプ...............P.30
12 液晶モニター P.11
タッチパネル P.12
13 三脚用ねじ穴
14 バッテリーカバー......................P.18
15 DC カプラー用ケーブルカバー
16 ストラップ取り付け部.................P.2

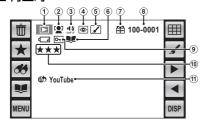
17 USB 端子.........................P.79、81
18 バッテリー取り外しつまみ P.18
19 メモリーカードスロット P.20
20 バッテリー挿入部.......................P.18

液晶モニター（タッチパネル）の表示

撮影時および再生時には、液晶モニター（タッチパネル）に次の情報が表示されます。

■ 静止画撮影時

* IN はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

1	手ブレ設定	P.28
2	顔キレイナビ	P.40
3	マナーモード	P.30
4	ホワイトバランス	P.91
5	連写	P.92
6	バッテリー残量表示	P.26
7	AF 警告	P.29
8	手ブレ警告	P.42
9	AF フレーム	P.92
10	露出補正	P.88
11	ダイナミックレンジ	P.90
12	日付・時刻	P.23
13	感度	P.89
14	撮影可能枚数	P.130
15	フィルムシミュレーション	P.91
16	画像サイズ / 画質モード	P.89/90
17	内蔵メモリー *	
18	フォルダ表示	P.95

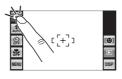
■ 再生時

1	再生モード	P.54
2	顔キレイナビ	P.40
3	マナーモード	P.30
4	赤目補正	P.64
5	画像加工	P.59
6	フォトブックアシスト	P.68
7	プレゼント	P.54、84
8	コマ NO.	P.104
9	プロテクト	P.98
10	お気に入り	P.54
11	アップロード先設定	P.99

はじめに

タッチパネルの使い方

このカメラの液晶モニターは、タッチパネルになっています。画面をタッチして操作してください。
このカメラのタッチパネルは圧力を感知するタイプです。パネルは確実にタッチしてください。

■ タッチする

画面に触れて離します。モードやメニューの切り換え、画像を選ぶときなどに使います。

■ スクロールする

画面上を指で掃くようにすばやく動かします。再生画面で前後の画像を表示するときなどに使います。

注意

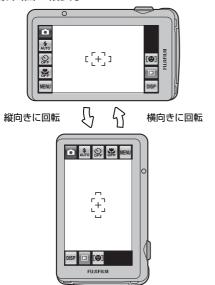
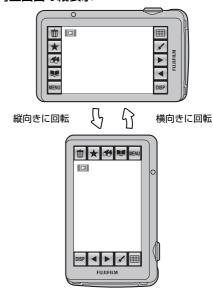
保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる可能性があります。
タッチパネル、液晶モニターが壊れる原因となりますので、下記の点にご注意ください。

- タッチパネルは、指先以外で操作しないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- カメラをズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんに無理に入れるなどしないでください。
- ストラップに一緒にぶら下げたアクセサリーなどにより、液晶モニターに圧力がかかるようなことのないようにしてください。

タッチパネルの画面は、実際の画面と異なる場合があります。

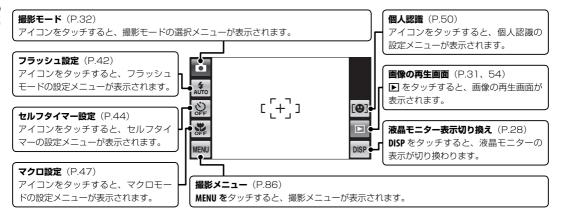
タッチパネルの縦表示について

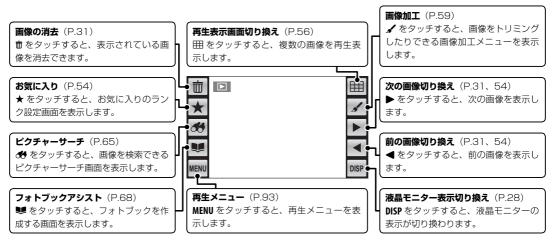
カメラを縦向きにすると、液晶モニターの表示が縦向きになります。

■ 撮影画面の縦表示

■ 再生画面の縦表示

画面によっては、縦向きの表示にならない場合があります。

タッチパネルの基本画面

撮影画面のタッチアイコン

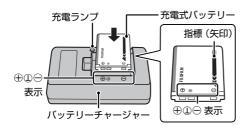
撮影画面では、以下のアイコンをタッチすると、設定の切り換えができます。撮影モードや設定状態などによって、操作できる項目や表示は異なります。

再生画面のタッチアイコン

再生画面では、以下のアイコンをタッチすると、表示の切り換え、消去、編集などができます。再生中の画像の種類やカメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

お客様がお使いのバッテリーは NP-45A です。

1 **バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。**

⊕Ⓣ⊖ 表示にしたがって、下図の方向で正しくセットしてください。

2 **電源プラグをコンセントに差し込みます。**

充電ランプが点灯して充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 **充電が終了すると、充電ランプは消灯します。**

充電時間については、136 ページをご確認ください。

バッテリーについてのご注意
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどを貼らないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（→ 111 ページ）を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。

バッテリーの寿命について
使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーチャージャーについてのご注意
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 バッテリーカバーを開けます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら開けてください。

2 バッテリーを入れます。

- 金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら閉めてください。

バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

バッテリー挿入時のご注意

- **バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。**
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

メモ：AC パワーアダプターについて

- このカメラは、別売の AC パワーアダプターと DC カプラーを組み合わせて、電源を供給することもできます。使い方については、それぞれに付属の使用説明書をご覧ください。
- AC パワーアダプターで電源供給時、電源をオンにするとデモモード再生開始のメッセージが表示されます。設定するとスライドショーが再生されます。キャンセルする場合はシャッターボタンを押してください。

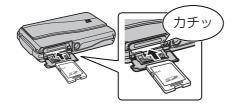
メモリーカードを入れる

撮影した画像は、内蔵メモリーまたは市販の SD/SDHC メモリーカードのどちらかに記録されます。

1 カメラの電源をオフにしてから、バッテリーカバーを開けます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら開けてください。

2 メモリーカードを入れます。

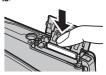
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカード挿入時のご注意

メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（IN と画面に表示されます）に記録されます。

3 バッテリーカバーを閉めます。

バッテリカバーの中央を軽く押しながら閉めてください。

メモリーカードを取り出すときは

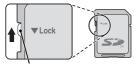
カメラの電源をオフにしてから、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急にはなすと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かにはなしてください。

■ 使用可能なメモリーカード

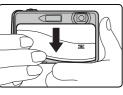
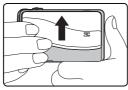
- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画を撮影するときは、書込み速度が SD スピードクラス４（4MB/ 秒）以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/ をご覧ください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

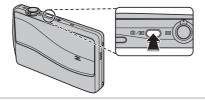
メモリーカードについてのご注意

- **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**
- SD/SDHC メモリーカードをカメラに入れるときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

- 未使用の SD/SDHC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット（→ 106 ページ）してからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにするには、レンズカバーを完全に止まるところまで開けます。レンズカバーを閉めると、電源がオフになります。

電源オン

電源オフ

再生モードで電源をオンにするには

レンズカバーが閉まっているときに、カメラ上部の 📷/▶ ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

メモ：撮影と再生の切り換え

- 撮影中に ▶ をタッチするか 📷/▶ ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンまたは 📷/▶ ボタンを押すと、撮影モードになります。

メモ：自動電源 OFF

一定時間内に操作が何も行われないときは、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **自動電源 OFF**（→ 106 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

注意

- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- 電源をオフにすると、インジケーターランプが点灯します。インジケーターランプ点灯中に電池は抜かないでください。また、点灯中は電源をオンにできません。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語、日時、撮影モードが設定されていません。次の手順で使用する言語を選び、日時と撮影モードを設定します。

1 電源をオンにします。
言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語をタッチします。

3 **年**、**月**、**日**を設定します。
▲ または ▼ をタッチして日付を設定します。

☛ **チェック**

年月日の並び順は、**年 . 月 . 日**をタッチすると変更できます。

4 **OK** をタッチします。

5 **AM/PM**、**時**、**分**を設定します。
- **AM** または **PM** をタッチして午前 / 午後を設定します。
- ▲ または ▼ をタッチして時刻を設定します。

6 **OK** をタッチします。

撮影の準備

7 撮影モードを設定します。

設定したい撮影モードをタッチします。

8 パフォーマンス設定を選びます。

- **節電**：消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。
- **AF スピードアップ**：ピント合わせの時間が短くなり、すばやく撮影できます。
- **モニターパワーアップ**：液晶モニターが明るくなり、なめらかで見やすい表示になります。

9 **OK** をタッチします。

撮影画面が表示されます。

チェック

言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで再設定できます（→ 102 ページ）。

メモ：初期設定の設定、保持

- 長期間保管したときは **言語/LANG.**、**日時設定**、**撮影モード**および **パフォーマンス**がクリアされ確認画面が表示されます。再設定してください。
- 別売の AC パワーアダプターと DC カプラーを接続、またはバッテリーを入れて約 1 日以上経過していれば、カメラから取り外しても、約 7 日保持されます。

設定のスキップ

あとでをタッチすると、設定をスキップできます。

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

BACK をタッチすると、前の画面に戻ります。

EXR AUTO（EXR オート）で撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。
EXR AUTO 以外の撮影モードに切り換える方法については、32 ページを参照してください。

カメラの電源をオンにする

1 カメラの電源をオンにします。
レンズカバーを完全に止まるところまで開けます。

2 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

3 EXR AUTO（EXR モード）をタッチします。
確認画面が表示されます。

4 確認画面をタッチします。
EXR モードの選択メニューが表示されます。

チェック
確認画面をタッチしなくてもしばらくすると自動的に EXR モードの選択メニューは表示されます。

5 EXR AUTO（EXR オート）をタッチします。

6 **OK** をタッチします。
撮影モードアイコンが EXR AUTO になり、撮影画面が表示されます。

EXR AUTO について

カメラが最適なシーンを認識すると、画面にシーンアイコンが表示されます。シーン認識後、シャッターボタンを半押しすると、シーンに最適な EXR モードが自動的に選ばれ、シーンアイコンの横に EXR アイコンが表示されます。

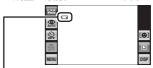
人物を認識した場合

シーン	内容
	人物：人物を認識した場合に表示されます。
	風景：建物や山などの風景を認識した場合に表示されます。
	夜景：夜景を認識した場合に表示されます。
	マクロ：近接撮影を認識した場合に表示されます。
	逆光＆人物：逆光のときの人物を認識した場合に表示されます。
	夜景＆人物：夜景のときの人物を認識した場合に表示されます。

メモ

シーンを認識しなかった場合は、**AUTO** で撮影されます。

7 バッテリー残量を確認します。

バッテリー残量を液晶モニターで確認します。

バッテリー残量

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

画像サイズについて

EXR AUTO のときに **画像サイズ**を AUTO に設定すると、記録画像は、自動的に最適なサイズで保存されます。

基本的な撮影と再生

カメラを構えて、構図を決める

1 カメラを構えます。

• 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

• レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

2 構図を決めます。
ズームレバーを回して、構図を調整します。

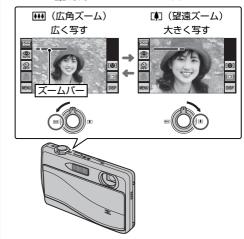
チェック

EXR AUTO（EXR オート）では、常にピント合わせを続けるため、次のような現象が起こります

• レンズの駆動音がします。
• バッテリーの消耗が早くなります。バッテリー残量にご注意ください。
• 撮影時に [アイコン] が表示されます。カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けます。

ズームを使うには

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは [W] 方向、被写体を大きく写したいときは [T] 方向に、ズームレバーを回してください。

セットアップメニューの **デジタルズーム**を **ON** にすると、被写体をさらに大きく撮影できます（→ 105 ページ）。

ブレ防止

このカメラでは、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減し、ノイズを抑えた高感度により背景まで明るく撮影できます。

撮影メニューの **ブレ防止**（→ 87 ページ）を **ON** にすると、ブレ防止が設定されます。ブレ防止の種類はセットアップメニューの **ブレ防止モード**で 1 **常時**または 2 **撮影時**から選べます（→ 102 ページ）。**OFF** のときは、 が表示されます。

チェック

三脚使用時は **ブレ防止**を **OFF** にすることをおすすめします。

注意

シーンや撮影方法によっては、ブレが残ることがあります。

情報の表示をオン・オフする

撮影時に **DISP** をタッチするごとに、液晶モニターの表示が次のように切り換わります。

フレーミングガイドを使って構図を決める

撮影メニューの **フレーミングガイド**（→ 87 ページ）を **ON** にすると、縦横にガイド線が表示され、構図が決めやすくなります。

注意

被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック（→ 48 ページ）を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、インジケーターランプが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が液晶モニターに表示され、インジケーターランプが緑色点滅します。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください（→ 48 ページ）。

チェック

シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

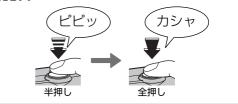
2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

写真が撮影されます。

シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指をはなさずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。

チェック

暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（→ 42 ページ）。

撮影画像

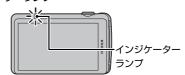
撮影した画像は、メモリーカードが挿入されていない場合は内蔵メモリーに、メモリーカードが挿入されている場合は My（マイピクチャー）フォルダに保存されます。撮影した画像を他のフォルダにコピーまたは移動したいときは、**フォルダ管理**（→ 95 ページ）で整理できます。

マナーモード

フラッシュ光やシャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードを使うには、撮影メニューの **マナーモード**（→ 87 ページ）を **ON** にします。

マナーモードに設定すると、フラッシュやイルミネーションランプが発光禁止になり（撮影モード を除く）、操作音やシャッター音、動画の再生音が OFF になります。セルフタイマーランプも発光しません。

- マナーモードに設定すると、液晶モニターに が表示されます。
- フラッシュ設定（→ 42 ページ）や音量（→ 105 ページ）を変更したいときは、まずマナーモードを解除してください。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

メモ：警告表示について

液晶モニターにも、警告表示が表示されます。詳細は 124 ページを参照してください。

撮影した画像を見る

撮影した画像は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 ▶（再生）をタッチします。

最後に撮影した画像（1コマ再生画面）が表示されます。

2 見たい画像を選びます。

◀ または ▶ をタッチすると、前後の画像が表示されます。

チェック

画面を左右にスクロールしても、前後の画像が表示されます。

シャッターボタンまたは 📷/▶ ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑 をタッチします。

- 確認画面が表示されます。**OK** をタッチすると、消去が実行されます。
- 消去するのをやめたい場合は、**BACK** をタッチします。

メモ：消去

再生メニューからも画像を消去できます（→ 57 ページ）。

基本的な撮影と再生

モードを切り換えて撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 設定する撮影モードのアイコンをタッチします。
確認画面が表示されます。

アイコン	撮影モード	参照ページ
EXR AUTO	EXR モード	P.25
AUTO	オート	P.34
	タッチショット	P.34
SP	シーンポジション	P.35
360° PANORAMA	ぐるっとパノラマ 360	P.38
N / N	ナチュラルフォト / 高感度２枚撮り	P.37
M	マニュアル	P.39
	動画	P.71

3 確認画面をタッチします。
撮影モードアイコンが設定した撮影モードになり、撮影画面が表示されます。

チェック
確認画面をタッチしなくてもしばらくすると自動的に撮影画面が表示されます。

撮影モードの種類

EXR モード（EXR オート /EXR 優先モード）

シーンに最適な EXR モードをカメラ任せで設定したい場合や優先する画質の指標を選んで撮影したい場合に使います。

■ EXR モードを設定する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 EXR AUTO をタッチします。
EXR モードメニューが表示されます。

3 使用したい EXR モードを選びます。

アイコン	説明
EXR AUTO	EXR オート：被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンと最適な EXR モードを設定します。操作の流れについては、「EXR AUTO（EXR オート）で撮影する」（→ 25 ページ）を参照してください。
HR	高解像度優先：被写体の細部までくっきりと撮影したいときに選びます。
SN	高感度低ノイズ優先：高感度で撮影したときに発生するノイズを軽減したいときに選びます。
DR	ダイナミックレンジ優先：白とびを抑え、明るい部分の階調まで撮影したいときに選びます。

BACK をタッチすると、撮影モードの選択画面に戻ります。

4 **OK** をタッチします。
撮影モードアイコンが選んだ EXR モードになり、撮影画面が表示されます。

AUTO オート

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。

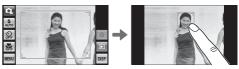
タッチショット

シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして、タッチした場所を撮影します。

■ タッチショットで撮影する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 （タッチショット）をタッチします。
撮影画面にタッチショットの枠が表示されます。

3 表示された枠内をタッチして撮影します。
画面に指が触れると、タッチした場所にピントが合い撮影されます。

SP シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

■ シーンポジションを設定する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 SP（シーンポジション）をタッチします。
シーンポジションメニューが表示されます。
BACK をタッチすると、撮影モードの選択画面に戻ります。

3 設定したいシーンポジションのアイコンをタッチします。

■ ペット検出（いぬ）/ ペット検出（ねこ）

または を選ぶと、犬または猫の正面の顔を検出し、ピントがペットの顔に合った写真を撮影できます。ペット検出モードのときは、セルフタイマー（→ 44 ページ）で **ペットオートシャッター**を選べます。 **ペットオートシャッター**を選ぶと、カメラが犬または猫の顔を検出するたびに、自動的に撮影します。ペットシャッターを解除するときは、**STOP** をタッチします。

ピクチャーサーチ（→ 65 ページ）では、それぞれのペット検出（ いぬ / ねこ）モードで撮影した画像ごとに検索できます。

ペット検出モードで撮影した画像は再生時に顔の部分を拡大して表示できます（→ 55 ページ）。

さらに、次のような機能が使えます。

- **スライドショー**（→ 97 ページ）
- **撮影画像表示**の**画像拡大チェック**（→ 102 ページ）

注意

ペット検出モードでは多くの種類の犬や猫の顔を検出できますが、種類や状態によっては検出できない場合があります。顔が検出されないときは、液晶モニターの中央にピントが合います。顔が検出できないときは、被写体を画面中央に置いて撮影してください。顔が検出できないと、再生時に をタッチしても画像拡大チェックはできません。

メモ：検出が苦手な例

- 顔全体が黒い種類
- 長い毛で顔が覆われている種類

いろいろな撮影

■ シーンポジションの種類

シーン	機能
人物	人物の撮影に適しています。肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。
美肌	肌を滑らかに撮影します。ソフトな印象の写真になります。
風景	昼間の風景撮影に適しています。建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。
スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。シャッタースピードは高速になります。
夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。自動で高感度になるため、手持ち撮影で発生しやすい手ブレを軽減します。
夜景（三脚）	夜景の撮影に適しています。スローシャッターでの撮影が行われます。手ブレ防止のために三脚のご使用をおすすめします。
花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。 ◀ または ▶ をタッチすると、シャッタースピードを任意で設定できます。
夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
スノー	白く輝く雪景色で画像が暗くなるのを防ぎ、明るく、くっきりと撮影します。
ビーチ	日差しの強い浜辺で画像が暗くなるのを防ぎ、明るく、くっきりと撮影します。
パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を活かした自然な写真になります。
花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。花びらの色を鮮やかに撮影できます。 ピントが合う範囲は マクロになります。
TEXT 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。文字をはっきりと撮影します。 ピントが合う範囲は マクロになります。
ペット検出（いぬ）	犬の撮影に適してます。犬の顔にピントが合った写真が撮影できます。
ペット検出（ねこ）	猫の撮影に適してます。猫の顔にピントが合った写真が撮影できます。

N/N⚡ ナチュラルフォト / 高感度 2 枚撮り

N ナチュラルフォトまたは **N⚡ 高感度 2 枚撮り**を選んで、高感度で撮影します。

■ 撮影モードを設定する

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 N/N⚡ をタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。
BACK をタッチすると、撮影モードの選択画面に戻ります。

3 設定したい撮影モードのアイコンをタッチします。

■ N ナチュラルフォト

暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真になります。室内やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

フラッシュは常に発光禁止になりますが、自動的に高感度になるため、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減します。

■ N⚡ 高感度 2 枚撮り

フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。逆光での撮影など光の調整が難しい撮影での失敗を防ぎます。

シャッターボタンを押すと、フラッシュを発光させずに目で見たままの雰囲気を活かして 1 枚目を撮影し、その直後にフラッシュを発光させて 2 枚目を撮影します。必ず 2 枚撮影されるので、撮影が終了するまで、カメラを動かさないようにしてください。

チェック

- フラッシュが強制発光しますので、フラッシュ撮影を禁止している場所では使用しないでください。
- マナーモード (→ 30 ページ) に設定していても、フラッシュは発光します。
- メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像 2 枚分以上の空き容量がない場合は撮影できません。

ぐるっとパノラマ 360

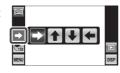
カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します。

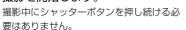
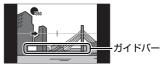
■ パノラマ写真を撮影する

1 撮影モードメニューから（ぐるっとパノラマ 360）をタッチします。

パノラマ写真の撮影画面が表示されます。

2 ➡ をタッチして、撮影する方向を設定します。

3 をタッチして、撮影する角度を設定します。

4 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

チェック

ぐるっとパノラマ 360 モードでは、広角側に固定されます。

メモ：パノラマ写真の再生

撮影したパノラマ写真は、カメラで再生できます（→ 70 ページ）。

注意

- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。

いろいろな撮影

- 以下の場合は、ぐるっとパノラマ 360 撮影には適していません。
  - 被写体が動いている
  - 被写体とカメラの距離が近すぎる
  - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
  - 波や滝など常に模様が変化する風景
  - 明るさが大きく変動するシーン

うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
- カメラを地面と平行（水平）に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。

パノラマモードで撮影した画像のプリントについて

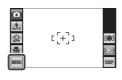
- パノラマモードで撮影した画像をプリントする場合、画面の合成枚数やプリントする用紙のサイズによっては、プリントの上下または左右に余白が出たり、画像の一部がプリントされない場合があります。
- FUJIFILM ネットプリントサービスでのご注文は受付できません。
- フジカラーデジカメプリントサービス取り扱い店でのパノラマモードのプリントについては、店頭にてご相談ください（→ 109 ページ）。
- パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html

M マニュアル

撮影機能を、撮影者が設定できます。

顔キレイナビで撮影する

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。また、赤目（フラッシュ発光によって瞳が赤くなる現象）も補正できます。

1 **MENU** をタッチします。
撮影メニューが表示されます。

2 （顔キレイナビ）をタッチします。
顔キレイナビ画面が表示されます。

3 設定したい項目をタッチします。

設定	意味
顔キレイナビ ON 赤目補正 ON	顔キレイナビと赤目補正の両方を行います。フラッシュ撮影するときに選びます。
顔キレイナビ ON 赤目補正 OFF	顔キレイナビは行いますが、赤目補正は行いません。
OFF	顔キレイナビと赤目補正のどちらも行いません。

4 被写体に合わせて構図を決めます。

人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。

緑色の枠

カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

5 撮影します。

緑色の枠内の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。

注意

- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- 顔が検出されない場合（→ 119 ページ）は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピントが合います。
- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビとセルフタイマーを組み合わせると、セルフポートレートを撮影するときに便利です（→ 44 ページ）。

個人認識を登録すれば、カメラが複数の顔を検出しても、登録された顔に優先してピントと明るさを合わせます（→ 50 ページ）。

顔キレイナビで撮影した画像は再生時に顔の部分を拡大して表示できます（→ 55 ページ）。

さらに、次のような機能が使えます。

- **赤目補正**（→ 64 ページ）
- **スライドショー**（→ 97 ページ）
- **ピクチャーサーチ**（→ 65 ページ）
- **撮影画像表示**の**画像拡大チェック**（→ 104 ページ）

フラッシュ撮影する（スーパーｉフラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュモードアイコンをタッチします。

フラッシュモード設定メニューが表示されます。

2 設定したいフラッシュモードをタッチします。

フラッシュ	説明
AUTO（オートフラッシュ）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
（強制発光）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
（発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
S（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

3 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに が表示されます。
- シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに が表示されます。フラッシュ設定を 以外にするか、三脚をご使用ください。

4 撮影します。

チェック

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

チェック

縦向きでフラッシュ撮影をするときは、フラッシュがレンズの上になるようにして撮影することをおすすめいたします。

メモ：スーパー i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「スーパー i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

顔キレイナビが 顔キレイナビ ON 赤目補正 ON のときのフラッシュ設定について

顔キレイナビが **顔キレイナビ ON 赤目補正 ON** のときは、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、AUTO（赤目軽減）、（強制発光）、SLOW（赤目スロー）から設定できます。

AUTO（赤目軽減）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

いろいろな撮影

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「恋するタイマー」「みんなでタイマー」「10 秒後撮影」、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」のセルフタイマーと赤ちゃんの撮影に便利な「ベビーオートシャッター」を搭載しています。

セルフタイマーの設定

1 セルフタイマーアイコンをタッチします。

セルフタイマー設定メニューが表示されます。

2 設定したいセルフタイマーをタッチします。

セルフタイマー	内 容
(ベビーオートシャッターアイコン)	ベビーオートシャッター
(恋するタイマーアイコン)	恋するタイマー
(みんなでタイマーアイコン)	みんなでタイマー
(10秒アイコン)	10 秒
(2秒アイコン)	2 秒
OFF	OFF

ベビーオートシャッター

カメラが人物の正面顔を検出すると、自動的に撮影します。赤ちゃんを撮影するときに便利です。

セルフタイマー設定メニューで を選びます。カメラが人物の顔を検出するたびに、自動的に撮影します。ベビーオートシャッターを解除するときは、**STOP** をタッチします。

ベビーオートシャッターで撮影した画像について

ベビーオートシャッターで撮影した画像は、**ピクチャーサーチ**（→ 65 ページ）で検索できます。また、再生時に顔の部分を拡大して表示できます（→ 55 ページ）。

さらに次のような機能が使えます。

- **赤目補正**（→ 64 ページ）
- **スライドショー**（→ 97 ページ）
- **トリミング**（→ 62 ページ）
- **撮影画像表示**の**画像拡大チェック**（→ 104 ページ）

恋するタイマー

二人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

セルフタイマー設定メニューで を選び、◀ または ▶ をタッチして撮影するラブ度を設定します。

1：♥
2：♥♥
3：♥♥♥

ラブ度が大きくなるほど、二人の顔を近づけないとカウントダウン（秒読み）が開始されません。二人の顔を近づけて、表示されているすべてのインジケーターが満たされると、ラブ度が **3**（♥♥♥）のときは 1 秒、**2**（♥♥）または **1**（♥）のときは 2 秒のカウントダウン（秒読み）が開始され、自動的に撮影されます。

メモ

- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。
- シャッターボタンを半押しすると、恋するタイマーを解除します。

みんなでタイマー

人数が揃ったときに自動的に撮影されます。

セルフタイマー設定メニューで を選び、◀ または ▶ をタッチして撮影する人数を設定します。

設定できる人数は 1 人から 4 人までです。

設定された人数の顔が認識されると、1 人のときは 1 秒、2 ～ 4 人のときは 2 秒のカウントダウン（秒読み）が開始され、自動的に撮影されます。

メモ

- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。
- シャッターボタンを半押しすると、みんなでタイマーを解除します。

10 秒後撮影 / 2 秒後撮影

1 セルフタイマー設定メニューで または をタッチします。

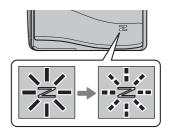
2 構図を決めてピントを合わせます。

3 セルフタイマーを開始します。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。液晶モニターには、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

注意

シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

（10 秒後撮影）では、カメラ前面のセルフタイマーランプ（イルミネーション）が点灯し、撮影直前に点滅します。（2 秒後撮影）では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

カウントダウン終了後、すぐに動かないでください。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影する

セルフタイマー撮影時に顔キレイナビ（→ 40 ページ）を使うと、事前にピントを合わせなくても、カメラが自動的に人物の顔を検出してピントを合わせます。撮影者を含めた集合写真や自分撮り（セルフポートレート）のときに便利です。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影するには、撮影メニューで顔キレイナビを設定します。シャッターボタンを全押しすると、撮影までの間に顔を検出し、シャッターがきれる直前にピントと明るさを合わせます。

近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

1 マクロモードアイコンをタッチします。
マクロモード設定メニューが表示されます。

2 をタッチします。

マクロに設定すると、アイコンの表示が になります。

3 構図を決めてピントを合わせます。

チェック
ズームレバーを使うと、構図を調整できます（→ 27 ページ）。

4 撮影します。

チェック

- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントが合い、インジケーターランプが緑点灯します。

☛ チェック

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど
光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体：

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）
- フォーカスエリア内に遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物や木の前の人物など）
- 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓など）
- 絵柄がこまかな場合（一面の花畑など、被写体が小さいか、明暗差が少ない被写体）

このようなときは、AF/AE ロック機能（→ 48 ページ）をお使いください。

ハイブリッド式オートフォーカスについて

このカメラはハイブリッド式オートフォーカスを搭載しているため、特に明るくコントラストの強い被写体を中央に置いて撮影する場合に、ピント合わせが速くできます。

個人認識情報を登録する（[☻] 個人認識）

個人認識を登録すると、登録した人の顔に優先的にピントや露出を合わせて撮影したり（→ 41 ページ）、再生時に登録した内容（名前や誕生日など）を表示したり（→ 51 ページ）できます。

個人認識情報を新規登録する

1 撮影画面で、[☻]（個人認識）アイコンをタッチします。

[☻] **個人認識**メニューが表示されます。

2 **新規登録**をタッチします。

個人登録画面が表示されます。

3 **個人登録**画面のガイドに合わせて正面の顔を撮影します。

確認画面で**登録**をタッチすると、撮影した顔が登録され、**個人情報**画面が表示されます。

☛ **チェック**

- 顔を撮影し直すときは、**撮り直し**をタッチします。
- 「**！登録できませんでした**」とメッセージが表示された場合は、**BACK** をタッチして撮影し直してください。

4 名前を入力します。

名前をタッチして、名前を入力します。

- 入力できる文字は、アルファベット大文字 / 記号、数字で最大 14 文字です。
- 文字入力の詳細は、「文字入力の方法」を参照してください（→ 53 ページ）。

5 **OK** をタッチします。

入力した名前が登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録した名前を確認してください。

6 カテゴリーを入力します。

カテゴリーをタッチして、属性を入力します。

登録する人の続柄をタッチすると、カテゴリーが登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録したカテゴリーを確認してください。

7 誕生日を入力します。

誕生日をタッチして、誕生日を入力します。

年月日の ▲ または ▼ をタッチして、誕生日を入力します。

8 **OK** をタッチします。

入力した誕生日が登録され、**個人情報**画面に戻ります。登録した誕生日を確認してください。

9 **OK** をタッチします。

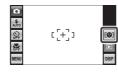
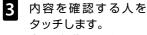
入力した内容が設定され、[☺] **個人認識**メニューに戻ります。

チェック

- 顔の拡大再生時、画像の撮影日と緑色の枠が表示された人物の誕生日が一致すると、名前とともに「**Happy Birthday!**」が表示されます。
- 個人認識機能を使用しない場合は [☺] **個人認識**メニューの**個人認識**を **OFF** にしてください。

いろいろな撮影

個人認識情報を表示 / 編集する

1 撮影画面で、[ ](個人認識)アイコンをタッチします。
個人認識メニューが表示されます。

2 **表示 / 編集**をタッチします。
登録情報画面が表示されます。

3 内容を確認する人をタッチします。
表示 / 編集画面が表示されます。

4 内容を確認します。

メモ

名前、カテゴリー、誕生日を変更する場合は、新規登録と同様の操作で入力し直します。

チェック

- **画像入替え**をタッチすると、登録されている顔の画像を撮り直して、入れ替えることができます。
- をタッチすると、表示している登録情報を削除できます。

登録おすすめ機能

個人認識メニューの**登録おすすめ機能**を **ON** にして撮影すると、何回も撮影された顔を自動で検出します。

チェック

- 撮影回数の多い顔を認識したときは「**この人物を登録しますか?**」とメッセージが表示されます。**OK** をタッチすると**個人情報**画面が表示され、新規登録ができます。
- **登録おすすめ機能**だけでは極端に認識されにくい場合がありますので、あらかじめ**新規登録**から登録することをおすすめします。

個人認識について

- 最大で 8 人までの情報を登録できます。すでに 8 人の情報が登録されている場合は、確認の画面が表示されますので、**表示 / 編集**で登録から外す人を削除してから新しい人を登録してください。
- すでに 8 人の情報が登録されている場合は、**登録おすすめ機能**は機能しません。
- 撮影時、**[☻] 個人認識**で登録されている人の顔を複数認識した場合、顔の上に緑色または橙色の枠が表示されます。緑色の枠が表示された人物 1 人のみ、登録した名前が画面に表示されます。その他の顔の上に白色の枠が表示されます。

チェック

名前が未登録の場合は、--- が表示されます。

注意

以下のようなときは、個人認識ができなかったり、正しく認識されなかったりする場合があります。

- 顔が正面を向いていない。
- 顔が画面に収まっていない。
- 顔の特徴が異なる（年齢によるものや表情など）。

文字入力の方法

1 入力する文字の種類を選びます。文字切り換えアイコンをタッチするごとに、入力できる文字がアルファベット大文字 / 記号または数字に切り換わります。

文字切り換えアイコン

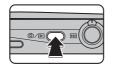
2 入力したい文字が表示されているアイコンを数回タッチして、文字を入力します。

3 1 文字を入力したら、▶ をタッチして次の文字を入力します。誤って入力した文字を削除したい場合は、◀ または ▶ で削除したい文字を選んで、**DEL** をタッチします。

4 手順 **2**、**3** を繰り返してすべての文字の入力が終わったら、**OK** をタッチします。

いろいろな撮影

1 コマ再生する

液晶モニターの ▶ をタッチするか 📷/▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示されます（1 コマ再生）。

◀ または ▶ をタッチすると、前後の画像が表示されます。

メモ：スクロール
画面を左右にスクロールしても、前後の画像が表示されます。

チェック
他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

情報の表示をオン・オフする
1 コマ再生時に **DISP** をタッチすると、液晶モニターの表示が次のように切り換わります。

情報表示あり ⇄ 情報表示なし

★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に ★ をタッチすると、お気に入りのランク設定画面が表示され、ランクを設定できます。設定するランクの ★ をタッチして、★ の数（0 ～ 5）を設定します。

メモ
- お気に入りのランク設定は、**ピクチャーサーチ**（→ 65 ページ）を行うときに便利です。
- お気に入りは再生メニューからも選べます（→ 93 ページ）。

再生ズーム

1コマ再生中に画像をズーム（拡大）できます。

1 1コマ再生画面の画面上をタッチします。

🔍（ズームアイコン）が表示されます。

ズームアイコン

2 🔍（ズームアイコン）をタッチします。

再生ズームモードになります。

☛ チェック

🔍を一度タッチすると、縮小（🔍）と移動（▲/▼/◀/▶）アイコンが表示されます。

3 ズーム操作を行います。

- 🔍をタッチすると拡大し、🔍をタッチすると縮小します。
- ▲、▼、◀、▶をタッチすると、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。
- 画像をタッチすると、タッチした部分を中心に拡大表示します。
- **BACK** をタッチすると、再生ズームを解除します。

メモ：ズームレバー

ズームレバーでもズーム操作が行えます。ズームレバーを [T] 側に回すとズームバーが表示されます（→27 ページ）。

☛ チェック

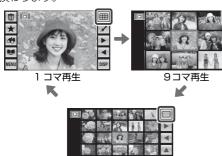
最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（→89 ページ）によって変わります。

顔キレイナビで撮影した画像の再生について

顔キレイナビ（→40 ページ）やベビーオートシャッター（→44 ページ）、ペット検出（🐶いぬ/🐱ねこ）モード（→35 ページ）で撮影した画像を再生しているときに [顔] または [ペット] をタッチすると、検出した顔が拡大表示されます。さらに拡大したいときは、ズームレバーや🔍を使ってください。

マルチ再生する

9 コマ、25 コマの一覧を表示して、見たい画像を選べます。

1 コマ再生時に 田 をタッチして表示を切り換えます。田 をタッチするごとに、9 コマ再生、25 コマ再生に切り換わります。

9 コマ再生、25 コマ再生時にサムネイル画像をタッチすると、その画像が 1 コマ再生画面で表示されます。

メモ：スクロール

9 コマ再生、25 コマ再生時に画面を左右にスクロールすると、表示する画像を切り換えられます。

メモ：再生表示画面の切り換え

- ズームレバーを操作しても再生画面の切り換えができます。レバーを [W] 側へ回すたびに表示画像が増え、[T] 側へ回すたびに表示画像が減ります。
- 9 コマ再生、25 コマ再生時に ▲、▼、◀、▶ をタッチすると、次の画像に移動できます。

チェック

9 コマ再生、25 コマ再生時にサムネイル画像をタッチして画像を 1 コマ再生表示すると、その画像があるフォルダ（→ 95 ページ）が操作中のフォルダになります。

縦表示のマルチ再生

縦表示でマルチ再生した場合、画面の上部には、選んでいる画像が大きく表示されます。表示する画像は ▲、▼、◀、▶ で選びます。大きく表示されている画像をタッチするとその画像が 1 コマ再生で表示されます。

🗑 画像を消去する

再生メニューでは、画像を１コマだけ消去したり、内蔵メモリーやメモリーカード内の画像をすべて消去できます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**１コマ再生画面での画像の消去については、31 ページを参照してください。

再生メニューで１コマ消去する

再生メニューから画像を消去できます。

1 再生時に **MENU** をタッチします。
▶ **再生メニュー**が表示されます。

2 🗑（消去）をタッチします。
🗑 **消去**画面が表示されます。

3 **１コマ**をタッチします。
１コマ消去画面が表示されます。

4 ◀ または ▶ をタッチして、消去する画像を選びます。

5 🗑 をタッチします。
確認画面が表示されます。

6 **OK** をタッチします。
選んだ画像が消去されます。消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

手順４～６を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を終了する場合は **BACK** をタッチします。

すべてのコマを消去する

1 前ページの手順 3 で**全コマ**をタッチします。
全コマ消去画面が表示されます。

2 **OK** をタッチします。
すべての画像が消去されます。消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**BACK** をタッチします。

注意
BACK をタッチして消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

メモ : 画像の消去
- **全コマ**で消去される画像は、現在、表示しているフォルダ（→ 95 ページ）内の画像のみです。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (→ 98 ページ)。

画像加工

画像をさまざまな方法で加工できます。1コマ再生画面で をタッチすると、**画像加工**メニューが表示されます。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

次のような画像加工ができます。

画像加工	意味
レイアウトフォト	複数の画像の組み写真を合成します。
画像回転	画像を回転させます（→61 ページ）。
トリミング	画像の必要な部分だけを切り抜きます（→62 ページ）。
リサイズ	画像のサイズを変更します（→63 ページ）。
赤目補正	顔キレイナビやベビーオートシャッターで撮影した画像の赤目を補正します（→64 ページ）。

メモ：画像加工

画像加工は再生メニューからも選べます（→93 ページ）。

組み写真を作る（レイアウトフォト）

1 **画像加工**メニューの **レイアウトフォト** をタッチします。

2 使用するレイアウトフォトのテンプレートをタッチします。

3 画像を組み込むテンプレート枠をタッチします。

選ばれたテンプレート枠は緑枠になります。

テンプレート枠

4 画像選択からテンプレート枠に組み込む画像を選びます。

組み込みたい画像が画像選択に表示されていない場合は、⩓または⩔で表示を切り換えます。

画像選択

チェック

組み込む画像を選んでからテンプレート枠を選んでも画像を組み込めます。

5 テンプレート枠に組み込んだ画像をタッチすると画像の調整ができます。

- **時計回りに90°回転**：をタッチして画像を回転できます。
- **拡大 / 縮小**：または をタッチして、画像を拡大・縮小できます。
- **位置の調整**：▲、▼、◀、▶をタッチして、拡大画像の表示部分を調整できます。
- **OK**をタッチして、調整を終了します。

チェック

選んだテンプレートによっては、画像を調整できない画像があります。

6 手順3～5を繰り返し、すべてのテンプレート枠への組み込みと調整が完成したら**OK**をタッチします。

レイアウトフォトの合成を中止する場合は**BACK**をタッチします。

7 作成するサイズをタッチします。

選んだサイズでレイアウトフォトが別ファイルとして保存されます。

いろいろな再生

画像を回転する（画像回転）

1 **画像加工**メニューの**画像回転**をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、画像回転する画像を切り換えられます。

2 ⤵ または ⤶ をタッチして画像を回転します。
- ⤵：時計回りに 90°回転
- ⤶：反時計回りに 90°回転

3 **OK** をタッチします。
画像回転を中止する場合は **BACK** をタッチします。

次に同じ画像を再生すると、回転された画像が表示されます。

チェック
他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

画像を切り抜く（トリミング）

1 **画像加工**メニューの **トリミング**をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、トリミングする画像を切り換えられます。

2 または をタッチして、切り抜きたい大きさに調整します。

チェック

一定時間が経過して、ズームアイコンが消えてしまった場合は、画像をタッチしてください。

3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして、切り抜きたい部分を調整します。

チェック

画像をタッチすると、タッチした部分を中心に拡大表示します。

4 **OK** をタッチします。

- トリミングされた画像が別ファイルとして保存されます。
- トリミングを中止する場合は **BACK** をタッチします。

チェック

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- 他のカメラで撮影した画像はトリミングできません。

画像のサイズを小さくする（リサイズ）

1 **画像加工**メニューの **リサイズ**をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、リサイズする画像を切り換えられます。

2 リサイズする画像サイズをタッチします。

- リサイズされた画像が別ファイルとして保存されます。
- リサイズを中止する場合は **BACK** をタッチします。

チェック

元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

元画像のサイズ	リサイズできるサイズ
L	M、S、640
M	S、640
S	640

赤目画像を補正する（赤目補正）

顔キレイナビ (→ 40 ページ) やベビーオートシャッター（→ 44 ページ）で撮影した画像（が表示されている画像）の赤目を補正できます。

1 **画像加工**メニューの **赤目補正**をタッチします。

表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

◀ または ▶ をタッチすると、赤目補正する画像を切り換えられます。

2 **OK** をタッチします。

赤目を検出してから検出された赤目が補正されます。

- 赤目補正が完了すると、赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。
- 赤目補正を中止する場合は **STOP** をタッチします。

チェック

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像（が表示されている画像）は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

いろいろな再生

ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます。

1 1コマ再生画面で をタッチします。
ピクチャーサーチ画面が表示されます。

メモ：ピクチャーサーチ
ピクチャーサーチは再生メニューからも選べます（→ 93 ページ）。

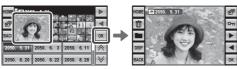
2 検索条件を選びます。
検索条件の項目をタッチします。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報を使って画像を表示します。
★ お気に入りで検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します（→ 54 ページ）。
撮影シーンで検索	指定した撮影シーンの画像を表示します。
画像タイプで検索	静止画または動画を表示します。
アップロード先で検索	指定したアップロード先で保存した画像を表示します（→ 99 ページ）。

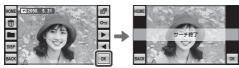
3 検索条件を絞り込みます。
絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

メモ：絞り込み条件
⩓または⩔で、絞り込み条件の前後のページを表示できます。

チェック
検索されるフォルダは操作中のフォルダのみです（→ 95 ページ）。

4 **OK** または拡大画像をタッチすると、拡大画像がサーチ結果画像として表示されます。

- ◀ または ▶ でサーチ結果画像（拡大画像）を選べます。
- 検索画像のサムネイル領域で画面を左右にスクロールすると、表示する画像を切り換えられます。
- をタッチすると、検索された画像だけでスライドショーを再生できます（→ 97 ページ）。
- をタッチすると、サーチ結果画像をプロテクトできます。

5 **OK** をタッチすると、検索が終了します。

サーチ終了画面が表示されます。

- **OK** をタッチすると、再生画面に戻ります。
- **BACK** をタッチすると、前の画面に戻ります。

検索した画像を消去する

1 検索結果が表示されている画面（手順 4）で をタッチします。

消去画面が表示されます。

2 **1 コマ**または**全コマ**を選びます。

- **1 コマ**：表示されている画像が消去されます（→ 57 ページ）。
- **全コマ**：検索条件に合った画像がすべて消去されます（→ 58 ページ）。
- 消去を中止する場合は、**BACK** をタッチします。

いろいろな再生

検索した画像を移動 / コピーする

1 検索結果が表示されている画面（66 ページの手順 4）で ■ をタッチします。
フォルダ管理画面（→ 95 ページ）が表示されます。

2 ◀ または ▶ をタッチして移動またはコピーしたい画像を表示させます。

3 移動またはコピー先のフォルダをタッチします。
移動または**コピー**の選択画面が表示されます。

4 **移動**または**コピー**をタッチします。
選んだフォルダに画像が移動またはコピーされます。

注意
コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。

フォトブックアシスト

お気に入りの画像を集めて、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 1 コマ再生画面でフォトブックアシストアイコンをタッチします。

フォトブックアシスト画面が表示されます。

2 **新規 BOOK** をタッチします。

フォトブック作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法をタッチします。

- **全画像から選択**：選択されているフォルダ内のすべての画像から 1 枚ずつ選択できます。
- **サーチして選択**：指定した条件で検索した画像から選択できます（→ 65 ページ）。

チェック

640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。

- をタッチすると、表示されている画像を選択または選択解除できます。
- をタッチすると、表示されている画像を表紙にできます。

チェック

最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、**MENU** をタッチします。

6 **作成終了**をタッチします。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

チェック

全て選択を選ぶと、選択されているフォルダ内の全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

メモ：フォトブックアシスト

フォトブックアシストは、再生メニューからも選べます（→ 93 ページ）。

注意

- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/finepix/photobook/

作成したフォトブックを見る

作成されているブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

◀ または ▶ をタッチして、次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU** をタッチします。

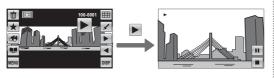
2 編集または削除を選びます。

- **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法は「フォトブックを作成する」と同じです（→ 68 ページ）。
- **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。

3 **画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。**

パノラマを再生する

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▶ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。

パノラマ再生時の操作方法について

機能	アイコン	説明
再生	▶	再生を開始します。再生が終了すると停止します。
一時停止	⏸	再生を一時停止します。
停止	■	再生を停止します。

いろいろな再生

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 撮影モードアイコンをタッチします。
撮影モードメニューが表示されます。

2 **動画**をタッチします。
撮影モードアイコンが になり、動画撮影画面が表示されます。

撮影可能時間が表示されます。

3 ズームレバーで、ズーム操作をします。

4 シャッターボタンを全押しして、動画撮影を開始します。
撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

撮影中は、●REC の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

5 もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

注意

動画の記録中はインジケーターランプが点灯します。動画撮影中またはインジケーターランプ点灯中にメモリーカードは抜かないでください。撮影した動画が再生できなくなります。

チェック

- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。
- 動画の撮影形式は、音声付き Motion JPEG 形式です。
- 動画撮影中、カメラの動作音が記録されることがあります。

注意

高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

メモ：顔キレイナビ

顔キレイナビを **ON** にすると、自動的に人物の顔を検出し、ピントや明るさを最適化します。

注意

- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- ズーム操作は撮影を開始する前に行ってください。撮影中はズームは変えられません。

動画撮影の設定

動画撮影のスタンバイ画面で **MENU** をタッチすると、**ピクセル**、**ブレ防止**（→ 28 ページ）、**マナーモード**（→ 30 ページ）、**顔キレイナビ**を設定できます。

ピクセルでは、動画の画像サイズを設定できます。動画の画像サイズは、HD（1280 × 720 ピクセル、HD 動画）または 640（640 × 480 ピクセル）から選択します。

動画撮影時の **顔キレイナビ**では、**ON** と **OFF** のみ選択できます。

動画の撮影と再生

▶ 動画を再生する

1 再生画面で動画を選びます。

2 ▶ をタッチします。

動画が再生されます。

動画再生中は、再生時間と進行状況を示すバーが表示されます。

注意

スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

動画再生時の操作方法について

動画再生中は、画面のアイコンで操作します。

機能	アイコン	説明
再生	▶	再生を開始します。再生が終了すると停止します。
一時停止	⏸	再生を一時停止します。
停止	■	再生を停止します。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows：MyFinePix Studio、Macintosh：FinePixViewer）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境		
OS *	Windows 7	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium4、3GHz 以上		Pentium4、2GHz 以上
メモリ	1GB 以上		512MB 以上
ハードディスク空き容量	15GB 以上		2GB 以上
ディスプレイ	• 1024 × 768 ドット以上フルカラー • DirectX 7 以上対応のグラフィックスプロセシングユニット（GPU）		
その他	• 本体標準の USB ポート。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 • .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要		

* すべてプリインストールされたモデルのみ。

チェック

CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

注意

上記以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ

同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/ **コンピュータ**（Windows Vista）/ **マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。
2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
3 **SETUP** または **SETUP.EXE** をダブルクリックします。

4 **MyFinePix Studio のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX、.NET Framework が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」(→ 79 ページ)に進んでください。

チェック

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から MyFinePix Studio をアンインストール(削除)する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」(Windows 7/Windows Vista)または「プログラムの追加と削除」(Windows XP)で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「FinePixViewer」をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel processor
OS *	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.6）
メモリ	256 MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200 MB 以上 動作に必要な容量 400 MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要

* すべてプリインストールされたモデルのみ。

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/

チェック

CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

注意
Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** − **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

7 FinePix Viewer を自動起動させます。

■ **Mac OS X（バージョン 10.5 以前）について**

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。
3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

■ **Mac OS X（バージョン 10.6）について**

1 あらかじめカメラを接続しておき、カメラの電源をオンにします。
2 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ（Image Capture）**を起動します。デバイス欄に、接続したカメラが表示されます。
3 接続したカメラの動作設定を選択します。**このカメラを接続時に開くアプリケーション**欄で、**その他**から **FPVBridge** 選択し、**開く**ボタンをクリックします。
4 イメージキャプチャを終了します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

チェック
CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Macintosh から FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewer フォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

2 Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。

2 カメラの電源をオフにします。

3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

チェック
USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4 カメラ上部の /ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

5 画像を転送します。

ソフトウェアが自動的に起動するので、画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

注意

- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
  - メモリーカードを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアが自動起動しないときは、正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

画像をプリントする

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

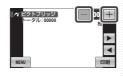
2 カメラ上部の 📷/▶ ボタンを長押しして、カメラの電源をオンにします。

液晶モニターに **USB 接続**が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

1 ◀ または ▶ をタッチしてプリントしたい画像を選びます。

2 ＋または－をタッチして、プリント枚数を指定します。

最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

4 **印刷**をタッチします。

確認画面が表示されます。

5 **OK** をタッチします。

プリントが開始されます。プリントを中止する場合は、**やめる**をタッチします。

チェック

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに**印刷**をタッチすると、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

メモ：日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **MENU** をタッチします。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、**日付ありプリント** を選びます。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントするには、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

画像をプリントする

赤外線通信で画像を送受信する

高速赤外線通信機能を持つ弊社製デジタルカメラ、デジカメプリントシステム「PrinCiao EX」プリンター、その他の機器、および IrSimple 機能を搭載した携帯端末と通信して、画像を送受信できます。赤外線通信では高速赤外線通信機能を持つ機器と通信して、画像を送受信できます。

赤外線通信を行う前に

1 カメラと通信先機器の電源を入れます。

2 カメラと機器を 5 ～ 20cm 離します。

3 カメラの赤外線通信ポートを、通信先の機器の赤外線通信ポートの正面に向けます。

このとき、両ポートの角度は 15° 未満にします。

メモ：赤外線通信設定について

画像の送受信をする前に、カメラのセットアップメニューの **赤外線通信設定**を、通信先の機器が使っている赤外線通信方式に合わせます（→ 103 ページ）。詳細は、機器のマニュアルをご覧ください。

メモ：赤外線通信に対応する機器について

赤外線通信での送受信に対応する機器については、ホームページ（http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/）で紹介しています。互換性情報から、このカメラに関する情報をご覧ください。

画像を送信する

1 再生時に **MENU** をタッチします。
再生メニューが表示されます。

2 ●))) をタッチします。
赤外線通信画面が表示されます。

3 ◀ または ▶ をタッチして送信したい画像を選びます。

4 をタッチします。
送信が開始されます。

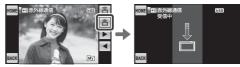
送信が完了すると、画面に**送信完了**と表示されます。

画像を受信する

1 再生時に **MENU** をタッチします。
再生メニューが表示されます。

2 ●))) をタッチします。
赤外線通信画面が表示されます。

3 送信元のカメラから「画像を送信する」の手順にしたがって、画像を送信します。

4 をタッチします。
受信が開始されます。

受信が完了すると、画面に**受信完了**と表示されます。受信した画像には、再生時に （プレゼントアイコン）が表示されます。

注意

- 受信した画像は、マイピクチャーに保存されます。
- 動画は送受信できません。
- カメラと機器の間に障害物がないこと、赤外線ポートが正しく向き合っていることを確認してください。
- 直射日光の下、または蛍光灯の真下で、赤外線通信をしないでください。
- テレビやビデオのリモコンなど、他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器が近くにあると、正常に通信できないことがあります。
- エラーが表示された場合は、**OK** をタッチしてもう一度送受信を開始するか、**BACK** をタッチして送受信を中止してください。
- カメラと他の機器の間で送受信される画像は、画像サイズが小さくなることがあります。
- 16：9 の画像の場合、プリンターの仕様によってはプリントの上下左右に白線が入ることがあります。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能の設定を変更できます。

撮影メニューの使い方

1 撮影時に **MENU** をタッチします。
撮影メニューが表示されます。

2 変更する項目のアイコンをタッチします。

3 変更する設定をタッチします。
表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

撮影メニュー一覧

メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
露出補正	画像の明るさを調整できます。	− 2.0EV 〜 + 2.0EV（1/3EV ステップ）	0	P.88
感度	光に対する感度を変更できます。	AUTO/AUTO (1600)/AUTO (800)/AUTO (400)/3200 M/1600/800/400/200/100	AUTO	P.89
画像サイズ	撮影する画像の大きさを変更できます。	L 4:3/L 16:9/M 4:3/M 16:9 S 4:3/S 16:9	L 4:3	P.89
画質モード	撮影する画像の画質を変更できます。	FINE/NORMAL	NORMAL	P.90
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。	AUTO/R100/R200/R400	AUTO	P.90
フィルムシミュレーション	撮影する画像の発色や階調を変更できます。	STD/V/B/SEPIA	STD	P.91
ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます。	AUTO/☀/⛅/1/2/3/	AUTO	P.91
連写	連続撮影ができます。	ON/OFF	OFF	P.92
顔キレイナビ	人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせます。赤目も補正できます。	//OFF	—	P.40
AF モード	ピントを合わせるエリアを変更できます。	/		P.92
ブレ防止	手ブレを軽減します。	ON/OFF	ON	P.28
フレーミングガイド	縦横にガイド線を表示させ、構図を決めやすくできます。	ON/OFF	OFF	P.28
マナーモード	フラッシュ光やシャッター音、動画の音声などをオフにします。	ON/OFF	OFF	P.30
セットアップ	カメラの基本的な設定を変更できます。	—	—	P.102

画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

露出補正インジケーター

露出補正インジケーターの ▲ または ▼ で露出を調整し、**OK** をタッチします。

＋補正（▲）

暗い画像が明るくなります

ー補正（▼）

明るい画像が暗くなります

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影：** $+\frac{2}{3}$EV ～ $+1\frac{2}{3}$EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：**$-\frac{2}{3}$EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：**$-\frac{2}{3}$EV

チェック

「EV」とは → 128 ページ

チェック

露出補正を±０以外に設定すると、画面に が表示されます。設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、±０に設定してください。

感度を変更する（ISO 感度）

光に対する感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

チェック

- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- **AUTO** に設定すると、被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
- **AUTO** 以外に設定すると、撮影画面に設定値が表示されます。
- ISO **感度**は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

画像の大きさを変える（画像サイズ）

記録する画像の大きさを変更できます。画像サイズ（ピクセル）が大きいほど画質が良くなり、小さいほどより多くの枚数を記録することができます。

設定	用途例
L 4:3	A3、四切（254mm × 305mm）、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
L 16:9	
M 4:3	六切（203mm × 255mm）、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 16:9	
S 4:3	DSC（89mm × 119mm）、L（89mm × 127mm）、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 16:9	

選んだ画像サイズで撮影可能なコマ数が右側に表示されます。

チェック

- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- **画像サイズ**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
4:3	縦横比は 4:3 になります（通常）。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。

圧縮率を変更する（画質モード）

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。

ダイナミックレンジを設定する（D-Rng ダイナミックレンジ）

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。

設定	説明
AUTO	カメラが撮影シーンに応じてダイナミックレンジを 100 ～ 400%に自動的に設定して、撮影します。コントラストの強いシーンでは、白とびや黒つぶれを抑え、広いダイナミックレンジを必要としない雲天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
R100 100%	指定したダイナミックレンジの広さで撮影します。
R200 200%	
R400 400%	

注意

ダイナミックレンジが広くなるほど、画像に素子状のノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

メニューを使いこなす

フィルムシミュレーションを設定する（フィルムシミュレーション）

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。また、白黒やセピアカラーでも撮影できます。

▲または▼でフィルムシミュレーションを選び、OKをタッチすると設定されます。

設定	説明
PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や自然の撮影に適しています。
モノクロ	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
セピア	ワーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

色合いを調節する（WB ホワイトバランス）

ホワイトバランス（→ 129 ページ）を太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

▲または▼でホワイトバランスを選び、OKをタッチすると設定されます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO**をおすすめします。
☀	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。

人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO**の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選んでください。

チェック

- 光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください（→ 42 ページ）。
- 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

連続撮影する（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

シャッターボタンを押している間、最大 5 コマを連続して撮影します。

注意

フラッシュは使用できません。

ピントを合わせるエリアを変える（AF モード）

ピント合わせのエリアを変更できます。ただし、マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。**顔キレイナビ**が **ON** のときは、AF モードは設定できません。

■ センター固定

画面中央にある被写体にピントを合わせます。AF/AE ロック撮影（→ 48 ページ）と併用すると、より効果的です。

■ オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター中央付近にあるコントラストが高い被写体を自動認識して、その被写体にピントを合わせます。

半押し　AF フレーム

再生の設定を変える — 再生メニュー

再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 再生時に **MENU** をタッチします。
▶ **再生メニュー**が表示されます。

2 変更する項目のアイコンをタッチします。

3 変更する設定をタッチします。
表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。

再生メニュー一覧

メニュー項目	機能	参照ページ
フォトブックアシスト	お気に入りの画像を集めて、フォトブックを作成できます。	P.68
お気に入り	★ の数で、お気に入りのランクを設定できます。	P.54
2 画面比較	画面に 2 つの画像を並べて表示して比較できます。	P.94
フォルダ管理	撮影した画像をフォルダに分けることができます。	P.95
ピクチャーサーチ	画像をさまざまな条件で検索できます。	P.65
画像加工	画像をさまざまな方法で編集できます。	P.59
スライドショー	画像を順番に自動再生します。	P.97
プロテクト	誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトします。	P.98
認識情報削除	選択した画像に登録された個人認識情報を削除します。	P.99
消去	画像を 1 コマずつ消去したり、全コマをまとめて消去したりできます。	P.57
アップロード先設定	アップロード指定すると、パソコンと接続したときに YouTube や FACEBOOK に動画や静止画を自動的にアップロードできます。	P.99
赤外線通信	赤外線通信で画像を送受信できます。	P.83
マナーモード	フラッシュ光やシャッター音、動画の音声などをオフにします。	P.30
セットアップ	カメラの基本的な設定を変更できます。	P.102

２つの画像を比較する（2 画面比較）

2 つの画像を並べて表示し、比較できます。

2 画面比較画面で、どちらかの画像をタッチして選びます。選んだ画像は太枠で囲まれます。

- をタッチすると、選んだ画像を削除します。
- をタッチすると、選んだ画像を拡大表示します。
- ◀ または ▶ をタッチすると、選んだ画像の前後の画像を切り換えます。
- **BACK** をタッチすると、2 画面比較を終了します。

メモ：スクロール

それぞれの画像を左右にスクロールしても、前後の画像を表示できます。

フォルダを管理する（フォルダ管理）

撮影した画像をフォルダごとに分けることができます。

■ 再生するフォルダを表示する

フォルダ管理画面で、表示するフォルダをタッチします。

- OK をタッチすると、1コマ再生画面に戻ります。
- または をタッチすると、フォルダ内の前後の画像を表示できます。

内蔵メモリー
マイピクチャー （110_FUJI）
テーマ 1 （101FETC1）
テーマ 2 （102FETC2）
プライベート （100FPRIV）

※（）内はメモリーカード内の初期値のフォルダ名です。

チェック

- をタッチすると、（内蔵メモリー）と（プライベート）フォルダを除く、すべてのフォルダの画像を表示します。
- メモリーカードが挿入されていない場合は、フォルダ管理はできません。
- 他のカメラで撮影されたメモリーカードを挿入した場合、フォルダ構成が異なる場合があります。

パスワード設定

（プライベート）フォルダ内の画像を表示するときは数字4桁のパスワードを入力する必要があります。

▲または▼をタッチして、4桁のパスワードを入力します。OK をタッチすると、パスワードが設定されます。

チェック

- ご使用のカメラのみのロック機能で、暗号化などの機能はありません。
- プライベートフォルダは、他のカメラでは通常のフォルダと同じように再生できます。
- パスワードを忘れたときはセットアップメニューの **パスワード設定**で再設定してください（→ 103 ページ）。

■ 画像を移動 / コピーする

1 移動またはコピーする画像があるフォルダをタッチします。

フォルダ内の画像が表示されます。

2 移動またはコピーしたい画像をタッチします。

移動またはコピー先を選択する画面が表示されます。

3 移動またはコピー先のフォルダをタッチします。

移動または**コピー**の選択画面が表示されます。

4 **移動**または**コピー**をタッチします。

指定されたフォルダに画像が移動またはコピーされます。

移動またはコピーを中止する場合は、**BACK** をタッチします。

注意

コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。

連続して再生する（スライドショー）

撮影した画像を順番に自動再生します。スライドショーの種類を選び、**横再生**または **縦再生**をタッチすると、選択しているフォルダーのスライドショーが開始します。**縦再生**の場合は縦表示となります（→ 13 ページ）。

メニュー項目	機能
ノーマル / フェード	フェードを選択すると、画像がフェードアウトしながら、切り換わります。
ノーマル / フェード	顔キレイナビ（→ 40 ページ）やベビーオートシャッター（→ 44 ページ）、ペット検出（いぬ / ねこ）モード（→ 35 ページ）で撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。
マルチ	複数コマを一度に表示できます。
BGM 設定	スライドショー中の BGM を設定できます。

チェック

- 表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
- スライドショーを終了するときは、画面をタッチしてから **STOP** をタッチしてください。
- 動画は自動的に再生が始まり、再生が終了すると次の画像に進みます。
- スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

画像を保護する（ プロテクト）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

■ 設定 / 解除

選んだ画像にプロテクトをかけたり解除したりします。

1 ◀ または ▶ をタッチしてプロテクトする画像または解除する画像を選びます。

プロテクトされていない画像

プロテクトされている画像

- プロテクトされていない画像を選んで をタッチすると、画像にプロテクトを設定します。
- プロテクトされている画像を選んで をタッチすると、プロテクトを解除します。

2 手順 1 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもプロテクト設定します。

設定を終了するには、**BACK** をタッチします。

■ 全コマ設定

OK をタッチすると、すべての画像がプロテクトされます。

■ 全コマ解除

OK をタッチすると、すべての画像のプロテクト設定を解除します。

チェック

画像の数が多いと、**全コマ設定**や**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**BACK** をタッチしてください。

注意

メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（→ 106 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

メニューを使いこなす

認識情報を削除する（ 認識情報削除）

個人認識登録された顔が写っている画像を再生中に、 **認識情報削除**を選ぶと個人認識登録された顔が拡大表示されます。**OK** をタッチすると選択した画像に登録された個人認識情報を削除します。

チェック

640 の画像の個人認識情報は削除できません。

画像や動画をアップロード予約する（ アップロード先設定）

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK へのアップロード先を設定できます。

■ アップロード予約 / 解除

1 アップロード先を指定します。
YouTube または **FACEBOOK** をタッチします。

2 ◀ または ▶ をタッチしてアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。

アップロード予約されていない画像

アップロード予約されている画像

- アップロード予約されていない画像を選んで **OK** をタッチすると、予約を設定します。
- アップロード予約されている画像を選んで **OK** をタッチすると、予約を解除します。

メニューを使いこなす

3 手順 2 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

設定を終了するには、**BACK** をタッチします。

注意

- アップロード予約されたファイルは、再生時に **YouTube** または **FACEBOOK** と表示されます。
- アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。

■ 全コマ解除

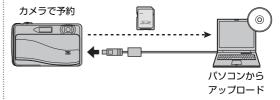
OK をタッチすると、すべての画像のアップロード予約を解除します。

チェック

画像の数が多いと、**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**BACK** をタッチしてください。

■ Web にアップロードするには

カメラで予約した画像はパソコンから簡単にアップロードできます。MyFinePix Studio の **YouTube/FACEBOOK アップローダー**を使用します。

MyFinePix Studio をインストールしてください（→ 74 ページ）。

チェック

この機能は Windows のみで使用できます。

カメラの設定を変える ― セットアップメニュー

カメラの基本的な設定を変更できます。

セットアップメニューの使い方

1. **MENU** をタッチします。
   メニューが表示されます。
2. **SET**（セットアップ）をタッチします。
3. 変更する項目をタッチします。
   表示されるメニュー項目を切り換えるときは、▲ または ▼ をタッチします。
4. 変更する設定をタッチします。

セットアップメニュー一覧

メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定します。拡大画面でピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます。	3 秒 /1.5 秒 / 拡大 /OFF	1.5 秒	P.104
コマ NO.	コマ番号の付けかたを設定します。	連番 / 新規	連番	P.104
ブレ防止モード	ブレ防止の種類を設定します。 1 **常時**では、撮影モードの状態では、常にブレ防止が ON となり、2 **撮影時**では、シャッターボタンを半押しするとブレ防止が ON となります。	1/2	1	P.28
イルミネーション	起動時と撮影完了後にイルミネーションを点灯させるかどうかを設定します。被写体に撮影が完了したことを知らせるときなどに **ON** にします。	ON/OFF	ON	—
デジタルズーム	デジタルズームを使用するかどうかを設定します。	ON/OFF	OFF	P.105
日時設定	日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「初期設定を行う」の手順 3 以降を参照してください。	—	—	P.23
音量	シャッター音、操作音、再生音の音量を設定します。	—	—	P.105
音色	シャッター音、起動音、操作音の種類を設定します。	—	—	P.105
モニター明るさ	画面の明るさを設定します。	—	0	P.105
フォーマット	内蔵メモリーまたはメモリーカードを初期化します。	—	—	P.106
言語/LANG.	画面に表示する言語を設定します。	ENGLISH/ 日本語	日本語	P.23
自動電源 OFF	何も操作していないときに、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します。	5 分 /2 分 /OFF	2 分	P.106
世界時計	時差を設定します。	⌂/✈	⌂	P.107

メニューを使いこなす

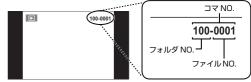
メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
縦横自動回転再生	縦方向で撮影した画像を、自動的に回転して再生するかどうかを設定します。	ON/OFF	ON	—
配色設定	メニュー画面の背景色を変更できます。	**ブラック / ゴールド / レッド / ピンク**	—	—
パフォーマンス	バッテリー寿命、ピント合わせのスピード、液晶モニターの見やすさの中で、カメラが何を優先して電力を消費するかを設定できます。	/ /		P.107
赤外線通信設定	赤外線通信の通信方式を選びます。カメラやプリンターとの通信には**標準**を、テレビとの通信には **IrSS** を選択します。	標準 /IrSS	標準	P.83
リセット	**日時設定**、**世界時計**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。**OK**をタッチすると実行されます。	—	—	—
パスワード設定	プライベートフォルダ用のパスワードを設定します。	—	—	P.95
キャリブレーション	タッチパネルの位置を調整します。	—	—	P.108
バージョン情報	ファームウェアのバージョン情報を確認します。	—	—	—

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面を表示してピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます。

メニュー項目	機能
3 秒	撮影直後、画像が設定した秒数だけ表示され、その後記録されます。 表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
1.5 秒	
画像拡大チェック	撮影直後に画像が拡大表示されます。OK をタッチすると、撮影画像に戻ります。再生時のズーム（拡大）操作については、55 ページを参照してください。 • ピントが合っているか確認したいときに便利です。 • 画像の拡大表示中に ▲、▼、◀、▶ をタッチして液晶モニターに表示する範囲を移動できます。 • **顔キレイナビ**を または にして撮影したときや、ベビーオートシャッターで撮影したときは、認識した顔を拡大します。複数の顔を認識したときは、 をタッチすると次の顔を拡大します。 • **ペット検出**（**いぬ**）または **ペット検出**（**ねこ**）で撮影したときは、認識した犬または猫の顔を拡大します。複数の顔を認識したときは、 をタッチすると次の顔を拡大します。 • **連写**が **ON** のときと撮影モードが のときは、画像拡大チェックはできません。
OFF	撮影直後に画像を表示しません。

コマ NO.

コマ NO. の付け方を設定します。コマ NO. とは、画像ファイル名に付けられた番号（フォルダ NO. ＋ファイル NO.）のことです。画像の再生中は、次の図のように、コマ NO. が表示されます。

• **連番**：メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。**連番**に設定すると、ファイル名の重複を防ぐことができます。
• **新規**：新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。

チェック

• **リセット**（→ 103 ページ）を行うと、**連番**になりますがコマ NO. はリセットされません。
• コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（→ 125 ページ）。
• 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

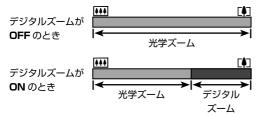
デジタルズーム

静止画を撮影しているときに **ON** にすると、光学ズームの望遠端（最大倍率）でズームレバーを [T]（望遠）側へ回すことにより、デジタルズームを使用できます。デジタルズームを解除するには、光学ズーム域に入るまで、ズームレバーを [W]（広角）側へ回します。

注意

デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

■ ズームバー表示

音量

シャッター音、操作音、再生音の音量を設定できます。変更する音をタッチして、音量を設定します。

■ シャッター音量 / 操作音量

音量の大きさを選び、**OK** をタッチします。

■ 再生音量

▲または▼で１～１０の音量を設定します。**OK** をタッチすると、音量が決定します。

メモ：無音にするには

無音にするときは、**OFF** を選びます。

音色

シャッター音、起動音、操作音の音色を設定できます。変更する音をタッチして、音色を設定します。**OK** をタッチすると、音色が決定します。

モニター明るさ

▲または▼で画面の明るさを調整し、**OK** をタッチします。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマットします。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。**OK** をタッチすると、フォーマットを行います。中止するときは **BACK** をタッチしてください。

注意
- フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むメモリーカードまたは内蔵メモリー内のすべてのファイルが消去されます。誤ってフォーマットすると元には戻せません。消去したくない画像は、パソコンにコピーしてください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

自動電源 OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2 分間または 5 分間）カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。**OFF** を選ぶと、電源は自動的にオフにはなりません。バッテリーを長持ちさせたいときは、**OFF** 以外に設定してください。**自動電源 OFF** の設定にかかわらず、プリンターやパソコンと接続しているときやスライドショーの再生しているときは、電源はオフになりません。

メモ：再び電源をオンにするには
撮影するときは、レンズカバーを開けます。再生するときは、/ ボタンを長押しします （→ 22 ページ）。

チェック
以下のときは、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定しても 5 分で電源が自動的に切れます。
- **パフォーマンス**で **AF スピードアップ**または **モニターパワーアップ**に設定しているとき
- **動画**撮影時のスタンバイ状態のとき
- **顔キレイナビ**を または にしているとき
- セルフタイマーをベビーオートシャッターにしているとき
- 撮影モードが （EXR モード）、 **美肌**、 **ペット検出**（**いぬ**）、 **ペット検出**（**ねこ**）のとき

メニューを使いこなす

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

■ 時差を設定する

1 **現地**をタッチします。
時差設定画面が表示されます。

2 時差を設定します。
- 左側の＋または－をタッチして、現地時間がお住まいの地域より早いか遅いかを設定します。
- ▲ または ▼ をタッチして、時差を設定します。時差は 15 分単位で設定できます。

3 **OK** をタッチして、決定します。

現地時間とホームの時間を切り換え

カメラの時計をお住まいの地域の時間に戻すには、世界時計画面で **ホーム**をタッチします。現地時間にするには、**現地**をタッチします。

現地を選ぶと、メニューから撮影画面に戻るたびに、液晶モニターに と日付が約３秒間黄色で表示されます。

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず **ホーム**に戻して、日時を再確認してください。

パフォーマンス

バッテリー寿命、ピント合わせのスピード、液晶モニターの見やすさの中で、カメラが何を優先して電力を消費するかを設定できます。

■ 節電

消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせたいときは、**節電**を選びます。
- 液晶モニターに１秒間に表示するコマ数を最少に抑えます。
- 高温下で長時間連続撮影する場合は、**節電**に設定してください。他のモードで長時間連続使用すると、CCD の性質上、縦筋状のノイズが撮影される場合があります。

■ AF スピードアップ

ピント合わせの時間を短くしてすばやく撮影したいときは、**AF スピードアップ**を選びます。シャッターチャンスを逃したくないときに便利です。消費電力が増えるため、バッテリー残量にご注意ください。

メニューを使いこなす

■ モニターパワーアップ

液晶モニターを明るく見やすくしたいときは、**モニターパワーアップ**を選びます。表示もなめらかになります。消費電力が増えるため、バッテリー残量にご注意ください。

チェック

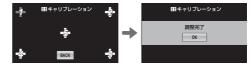
- **節電**の場合は約 10 秒間、**AF スピードアップ**または **モニターパワーアップ**の場合は約 30 秒間、カメラを操作しないと、自動的に液晶モニターが暗くなります。ボタンを操作すると、通常の明るさに戻ります。
- **自動電源 OFF**（→ 106 ページ）が **OFF** のときに、**パフォーマンス**を **AF スピードアップ**または **モニターパワーアップ**に設定すると、**自動電源 OFF** の設定が **5 分**に変更されます。
- **顔キレイナビ**（→ 40 ページ）を **ON** にすると、**節電**は無効になります。

キャリブレーション

タッチパネルの位置を調整できます。**キャリブレーション**は指先で行ってください。

画面に表示されるマーク（**+**）を順番にタッチしてください。マーク（**+**）以外のところをタッチするとエラーメッセージ画面が表示されます。もう一度マーク（**+**）をタッチしてください。

最後に **OK** をタッチすると、キャリブレーションが完了します。

メニューを使いこなす

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

ハイビジョンテレビで見る

ハイビジョンテレビ
（市販品）

HDMIケーブル
（市販品）で接続

HDプレーヤー
HDP-L1

SD/SDHCメモリーカード（市販品）

FINEPIX Z800EXR

パソコンに接続して画像を保存する

※パソコンで動画再生をするには、DirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

SDカードスロットまたはカードリーダーで接続

専用USBケーブル（付属品）で接続

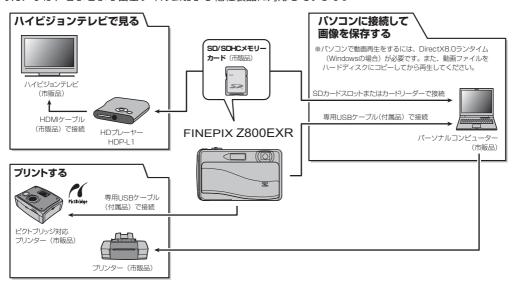
パーソナルコンピューター
（市販品）

プリントする

PictBridge

専用USBケーブル
（付属品）で接続

ピクトブリッジ対応
プリンター（市販品）

プリンター（市販品）

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます（パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html

* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-45/NP-45A：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-45W：充電式バッテリー NP-45A や NP-45 を短時間で充電します。充電時間は約 120 分（＋ 23℃において）です（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。	
AC パワーアダプター AC-5VX：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください（AC100V ～ 240V、50/60Hz 対応）。 このカメラでご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-45 と併用してお使いください。	
DC カプラー CP-45：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-5VX と併用してお使いください。	
HD プレーヤー HDP-L1：ハイビジョンテレビと接続して SD カードの静止画や動画を再生することができます（接続には市販の HDMI ケーブルが必要です）。	

※ 最新情報については、富士フイルムホームページ（http://fujifilm.jp/）をご覧ください。

カメラで使えるアクセサリー

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
•お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
•お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
•感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買い上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
•コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
バッテリーは極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

⚠ 警 告

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

充電器で指定外の電池を充電しない。
ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池を廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

本機や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因となることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

• 2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。充電時間については、本文をご参照ください。
  - 充電は＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲で行ってください。＋ 10℃～＋ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
  - 0℃以下の温度では充電できません。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋ 15℃～＋ 25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

2 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

※ 使用可能な電池は取扱説明書をご覧ください。

■取扱い上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合 : 充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。

- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、すべてを新しい電池にお取り換えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単３形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単３形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  詳しくは、使用説明書本文をご覧ください。

注意　アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種（1、2）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「有限責任中間法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウエア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）と Windows、Macintosh の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンと Windows、Macintosh の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合 : きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

- 、xD-Picture Card ™、xD- ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- IrSimple ™は Infrared Data Association® の商標です。
- IrSS ™または IrSimpleShot ™は、Infrared Data Association® の商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード / 内蔵メモリについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切貼らないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
バッテリー、電源について	レンズカバーを開けても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	16、18、26
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	18
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—
	バッテリーの減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	112
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		撮影モードが EXR AUTO に設定されていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、AUTO での撮影をおすすめします。	32
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18、26
		AC パワーアダプターや DC カプラーが正しく接続されていますか？	AC パワーアダプターや DC カプラーをつなぎ直してください。	—

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	16
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	16
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	―
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	―
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	110

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック！	処 置	ページ
メニューが英語で表示されています。	セットアップメニューの **言語/LANG.** が **ENGLISH** になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	23、102

困ったときは

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が 0 になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	20、31
		メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	106
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	20
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18、26
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	22
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	42
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	47
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロック撮影してください。	48、49
EXR AUTO モードについて	指定した画像サイズで保存されません。	**画像サイズ**を AUTO に設定していませんか？	EXR AUTO モードの特徴のひとつです。 EXR AUTO モードでは、被写体のシーンに応じて、カメラで最適な画素数や、ISO 感度などを決めます。記録画素数を固定したい場合は、**画像サイズ**を M または S に設定するか、AUTO や M モードに設定してください。	26
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケーターランプが橙色に点灯していませんか？	インジケーターランプが消灯するまでお待ちください。	30

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	41
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	27
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	48
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロ（近距離）が設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源が入っているときに AC パワーアダプターの接続や取り外しをしませんでしたか？	AC パワーアダプターや DC カプラーの接続および取り外しはカメラの電源が入っていないときに行ってください。メモリーカードの破損、パソコン接続時の誤作動の原因になります。	—

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18、26
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	92
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	30
		フラッシュ設定が（発光禁止）になっていませんか?	フラッシュを（発光禁止）以外に設定してください。	42
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュを選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	32
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	30
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	135
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	27
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	115
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	27
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と **!AF** が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	29、124
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	42、124
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像に縦筋状のノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	22
	撮影するときに紫色や白い縦スジ（スミア）が出ることがあります。	高温環境で連続使用をしていませんか？	被写体に非常に明るい部分があると紫色や白い縦スジが出る場合がありますが、CCD 特有の現象で、異常ではありません。動画では記録されますが、静止画には記録されません。動画撮影時は光源など明るい被写体が画面付近に入らないようにして撮影することをおすすめします。	72、129
		撮影画面内に太陽や照明など明るい被写体が入っていませんか？		

■ 再生時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	640 の画像ではありませんか？	640 の画像は、再生ズームができません。	62、63
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	105
		撮影中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影時はマイクをふさがないでください。	72
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	73
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	98
	全コマ消去したのに画像が残っています。			

■ 接続時

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック！</th><th>処 置</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>パソコンとの接続について</td><td>パソコンがカメラを認識しません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>79</td></tr>
<tr><td rowspan="4">プリンターとの接続について</td><td rowspan="2">接続したのにプリントできません。</td><td>USB ケーブルが正しく接続されていますか？</td><td>確認して正しく接続し直してください。</td><td>81</td></tr>
<tr><td>プリンターの電源は入っていますか？</td><td>プリンターの電源を入れてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>1 枚ずつしかプリントされません。</td><td rowspan="2">PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？</td><td rowspan="2">プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>日時が印字されません。</td></tr>
<tr><td>AC アダプター、DC カプラー接続について</td><td>デモモード再生開始のメッセージが表示されます。</td><td>電源供給時に電源をオンにしましたか？</td><td>設定した場合スライドショーが再生されます。カメラ操作に戻る場合はシャッターボタンを押してください。</td><td>19</td></tr>
</table>

■ その他

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	18、19
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。	16、18
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリー、AC パワーアダプターや DC カプラーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	18、19、141
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	30
タッチパネルについて	タッチパネルのアイコンが操作できない / 正しく操作できない。	タッチ位置に誤差が生じています。	画面を調節（キャリブレーション操作）してください。	108
		カメラを持つ手が、タッチパネルを押さえていませんか？	タッチパネルが押された状態では動作しません。	ー

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
（赤点灯）	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
（赤点滅）	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF（赤点灯） AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください（→ 48 ページ）。 • 暗い場合は被写体から 2m 程度離れて撮影してください。 • 近距離撮影の場合は、**マクロ**を設定してください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
レンズカバーが開いていません	レンズカバーが閉じた状態で撮影しようとしました。	レンズカバーを開けてから撮影してください。
フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
ズームエラー		
レンズ制御エラー		
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの **フォルダ管理**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 106 ページ）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 106 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 106 ページ）。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
リサイズできません	640 の画像をリサイズしようとしました。	640 の画像はリサイズできません。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 106 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 106 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください（→ 141 ページ）。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
SD 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
IN 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の **ON**/**OFF** を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください（→ 141 ページ）。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 106 ページ）。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（→ 21 ページ）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 106 ページ）。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカード（→ 106 ページ）をカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ NO.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ NO. が「100-0001」から付けられます。**コマ NO.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます（→ 104 ページ）。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 106 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください（→ 141 ページ）。
枚数制限をこえています	ピクチャーサーチを枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	30,000 枚（日付検索の場合は 4999 枚）を超える画像では、ピクチャーサーチを実行できません。
	レイアウトフォトを枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	30,000 枚を超える画像では、レイアウトフォトは実行できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 • プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→ 98 ページ）。
パスワードが違います	設定と異なるパスワードを入力しました。	パスワードを再設定してください。
640 トリミングできません	640 の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または再生できない画像をトリミングしようとしました。	
回転できません 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
マナーモードを解除してください	マナーモード時にフラッシュや音量を設定しようとしました。	マナーモード時は、フラッシュや音量の設定はできません。フラッシュや音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。

警告表示	警告内容	処 置
送信できません	他のカメラで撮影した画像（ ）を赤外線通信で送信しようとしました。	他のカメラで撮影した画像は赤外線通信で送信できません。
	赤外線通信中に通信が途切れました。	画像送受信範囲内から動かしたり、障害物を置いたりしないでください。
受信できません	赤外線通信中に通信が途切れました。	• 画像送受信範囲内から動かしたり、障害物を置いたりしないでください。 • 赤外線通信の場合は、カメラや他の機器の画像送受信範囲内から送受信してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **OK** をタッチして、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（ ）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

資料集

用語の解説

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや CCD などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより CCD に与える光量を一定にしています。CCD に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は＋ 1、半分になると EV 値は− 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーションジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の 1 種類であり、ファイル内の画像は JPEG 形式で記録されています。パソコンでは下記のソフトで再生できます。

- **Windows**：Windows Media Player（DirectX8.0 以降）
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

スミア：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写る CCD 特有の現象。

デジタルズーム：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

SD メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。メモリーカードなしでも、数枚程度の試し撮りは可能です。

記録媒体		内蔵メモリー（約 30MB）		4GB		8GB	
画質モード		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 4:3	6	9	830	1330	1680	2670
	L 16:9	8	13	1110	1770	2240	3550
	M 4:3	9	19	1340	2640	2700	5290
	M 16:9	13	26	1770	3440	3550	6910
	S 4:3	18	37	2480	4770	4980	9570
	S 16:9	28	42	3760	5640	7540	11310
動画 [1]	HD [2]	—		21 分		42 分	
	640	22 秒		50 分		100 分	

1 表中に記載している記録時間は、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。一度の撮影で動画の記録時間が HD は約 10 分、640 は約 15 分になると、自動的に撮影が終わります。

2 HD 動画を撮影するときは、書込み速度が SD スピードクラス4（4MB/ 秒）以上のメモリーカードをご使用ください。

主な仕様

システム	
型番	FinePix Z800EXR
有効画素数	1200 万画素
撮像素子	1/2 型、スーパー CCD ハニカム EXR、原色フィルター採用
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 30MB） • SD/SDHC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**：DCF 準拠（圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠） • **動画**：DCF 準拠（AVI 形式、Motion JPEG）
記録画素数（ピクセル、ファイルサイズ）	• L **4:3**（4000 × 3000：12M） • L **16:9**（4000 × 2248：9M） • M **4:3**（2816 × 2112：6M） • M **16:9**（2816 × 1584：4M） • S **4:3**（2048 × 1536：3M） • S **16:9**（1920 × 1080：2M） • 360° PANORAMA **ぐるっとパノラマ 360**：縦；（7680 X 920）横；（7680 X 616） • 360° PANORAMA **ぐるっとパノラマ 240**：縦；（5120 X 920）横；（5120 X 616） • 360° PANORAMA **ぐるっとパノラマ 120**：縦；（2560 X 920）横；（2560 X 616）
レンズ	• **名称**：フジノン光学式 5 倍ズームレンズ • **焦点距離**：f=6.4mm ～ 32mm（35 mm フィルム換算：約 35mm ～約 175mm 相当） • **開放 F 値**：F3.9（広角）～ F4.7（望遠）
デジタルズーム	• L/M：約 4 倍（光学 5 倍ズームと併用 最大約 20 倍） • S：約 4.4 倍（光学 5 倍ズームと併用 最大約 22 倍）
絞り	F3.9/F6.4（広角）/F4.7/8.0（望遠）
撮影可能範囲（レンズ先端面からの距離）	• **標準**：[広角] 約 60cm ～∞、[望遠] 約 100cm ～∞ • （マクロ）：[広角] 約 9cm ～約 80cm、[望遠] 約 40cm ～約 80cm
撮影感度（標準出力感度）	AUTO/100/200/400/800/1600/3200（最大記録画素数 M）
測光方式	TTL256 分割測光 マルチ
露出制御	プログラム AE、マニュアル
露出補正	－ 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ（M 時）
シーンポジション	人物、美肌、風景、スポーツ、夜景、夜景（三脚）、花火、夕焼け、スノー、ビーチ、パーティー、花の接写、TEXT 文字の撮影、ペット検出（いぬ）、ペット検出（ねこ）
撮影モード	EXR EXR モード、AUTO オート、タッチショット、SP シーンポジション、N/N ナチュラルフォト / 高感度 2 枚撮り、360° PANORAMA ぐるっとパノラマ 360、M マニュアル、動画

資料

システム	
手ブレ補正機能	光学式（CCD シフト方式）
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり
シャッタースピード	• 、、、、、SP（、、、、、、、、、、、、）：1/4 秒～ 1/1000 秒 • 360° PANORAMA：1/60 秒～ 1/1000 秒　• ：4 秒～ 1/2 秒 • ：1/4 秒～ 1/500 秒　• ：3 秒～ 1/500 秒
連写	連写速度：約 1.6 コマ / 秒、最大 5 コマまで
フォーカス	• **モード**：センター固定 / コンティニュアス AF（EXR AUTO 時） • **AF 方式**：ハイブリッド AF（TTL コントラスト AF/ 位相差 AF） • **AF フレーム選択**：センター固定 / オートエリア / タッチショット部（ 時）
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 日陰 / 電球 / 蛍光灯 1/ 蛍光灯 2/ 蛍光灯 3
セルフタイマー	ベビーオートシャッター / 恋するタイマー / みんなでタイマー /10 秒 /2 秒 /OFF/ ペットオートシャッター（、 時）
フラッシュ	• **方式**：オートフラッシュ • **撮影可能範囲（感度：ISO 800 時）**：［広角］約 30cm ～約 3.9m、［望遠］約 40cm ～約 3.2m
フラッシュ発光モード	• **赤目補正 OFF 時**：オートフラッシュ / 強制発光 / 発光禁止 / オートフラッシュスローシンクロ • **赤目補正 ON 時**：赤目軽減 / 赤目軽減強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減スローシンクロ
液晶モニター	3.5 型ワイド、カラー液晶モニター、約 46 万ドット（視野率 約 100%）、アスペクト比 16：9
動画	• HD（1280 × 720：720p）、24 フレーム / 秒 • 640（640 × 480：VGA）30 フレーム / 秒 ※ 撮影時のズームはできません
撮影メニュー	マナーモード、顔キレイナビ（顔検出機能）、連写、フレーミングガイド、フィルムシミュレーション
再生モード	画像加工、ピクチャーサーチ、フォルダ管理、お気に入り、フォトブックアシスト
赤外線通信機能	対応規格：IrSimple ™、IrSS ™ /FIR
その他の機能	PictBridge 対応、Exif Print 対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）

入出力端子	
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45A（付属） 専用 DC カプラー CP-45（別売）と専用 AC パワーアダプター AC-5VX（別売）を組み合わせて使用可能
バッテリー作動可能枚数の目安	**バッテリーの種類**：NP-45A **撮影枚数**：約 170 枚 CIPA 規格による。撮影モードは AUTO（オート）時、電池は付属のものを、記録メディアは SD カードを使用して測定。 **注意**：電池残容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	98.1mm × 59.0mm × 20.3（16.9*）mm（幅×高さ×奥行き） ＊突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 141g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	約 158g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**：0℃～+ 40℃ **湿度**：10 ～ 85%（結露しないこと）

バッテリー NP-45A	
公称電圧	3.7 V
公称容量	720 mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法	31.0 mm × 39.6 mm × 6.0 mm （幅×高さ×厚み）
質量	約 15.5 g

バッテリーチャージャー BC-45W	
定格入力	AC 100 V ～ 240 V　50/60 Hz
入力容量	8.0 VA（100 V）　12 VA（240 V）
定格出力	DC4.2 V　550 mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-45A
充電時間	約 120 分（+20℃において）
使用温度	0℃～+ 40℃
外形寸法	91 mm × 62 mm × 23 mm（幅×高さ×厚み） （突起物を除く）
質量	約 67 g（本体のみ）

※ 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

索引

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 **お問い合わせの前にお確かめください。**

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 **富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ**

（http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

3 **巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**

より早く正確な回答のために、ご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョンまたは CD-ROM のタイトル
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

• あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下･衝撃 、砂･泥かぶり 、冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。 大切なファイルは別のメディア（ハードディスク､CD-R､CD-RW､DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合がありま す。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取り扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示に当たりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問い合わせ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット：
  http://repairIt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：050-3786-1020
  ※受付時間：月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ファクス：050-3786-2040
  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急修理サービス（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。
- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前9：00～午後5：40 土曜日 午前10：00～午後5：00

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

■ 修理納期検索サービス
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

■ FinePix修理概算見積サービス
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
午前9：00～午後5：40 土曜日 午前10：00～午後5：00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1／TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePix クイックリペアサービス】**お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】**60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の＜修理のご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712